



北広島町社協だより

まごころ通信

令和2年1月17日発行
第58号

次世代へ継承

大朝注連縄会と老人クラブ大朝支部は、“縄をなう(紬う)”(※1)という文化を次世代へ受け継ぐために昨年度から大朝児童クラブの子ども達に注連縄づくりを教えています。
(詳細は2ページをご覧ください)



主な内容

注連縄かざりづくり.....	2	教室から地域へ広がるポッチャの輪!!	6
年頭のあいさつ.....	3	善意銀行まごころ.....	7
赤い羽根共同募金地域テーマ募金.....	3	寄付税制優遇.....	7
赤い羽根共同募金を地域のために活用しませんか...	4	譲ります・譲ってください.....	8
ケアマネは見た!	5	2月の行事予定.....	8
レクリエーション用具貸出事業.....	5	パート職員募集.....	8



北広島町社会福祉協議会

大朝老人クラブのメンバーが 子ども達と一緒に注連縄かざりづくり!!

12月25日(水)、大朝放課後児童クラブ大広間に子ども達21人と大朝注連縄会のメンバーと老人クラブ大朝支部の大人達8人が集いました。まずは、数本のわらを手に取り、縄をなう(紉う)(※1)ところから。これがそもそも難しいです。左手の平にのせたわらを、右手の平で上から押さえて転がしているように見えますが、やってみると、それだけではひねりが生まれません。回転させつつねじる感覚を、まずつかむ必要があります。子ども達は、自分で紉った縄を飾りつけしました。



子ども達は、「去年より上手くできた!!」「お母さんに作り方を教えてあげる!!」「来年もまたやりたい」などの声がありました。

大人達も去年のことを活かし、複数人で縄が紉えるように、縄を固定するために釘を打った板を工夫しました。「去年やったからか、縄を紉うのも上手くなっている」、「来年はもっとうまくなっているだろう。子ども達の成長を垣間見るのがうれしい。」と、言われました。

子ども達と大人達が注連縄づくりを通して、自分達の地域の文化を伝える機会となりました。たくさんの注連縄飾りが出来上がりました。

※1：よりを掛けて縄などを作ること。

宮島厳島神社へ奉納した大注連縄

12月7日(土)大朝福祉センターで大朝注連縄会が、大注連縄をつくり宮島厳島神社へ奉納しました。

世界遺産の大注連縄を自分達がつくるという誇りと、伝統を次世代に受け継ぐ強い思いをもって活動を続けられています。今回の注連縄づくりには初参加の方もおられ、注連縄づくりのベテランさんから上手く作るコツを伝えられる場面もありました。

完成した大注連縄は、みなさん「すばらしいものを作ることができた。多くの人にみてもらいたい」と話されていました。厳島神社へ参拝の折には、是非ご覧ください。



年頭のあいさつ

北広島町社会福祉協議会

会長 橋渡 良臣

あけましておめでとうございます。

「令和」として最初の年 皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は本会が運営する「松籟荘」におきまして二つの大きな事件・事故を引き起こしてしまいました。

お亡くなりになりました入居者様のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに虐待を受けた方々に重ねてお詫びを申し上げます。

現在、原因を探りながら職員研修、施設改善等できることから対策を進めております。

今後は、本会に対する信頼が少しでも早く回復できますよう役職員一丸となって努力をしますまいりますので、ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

末筆となりましたが皆さまのご健勝・ご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

赤い羽根共同募金地域テーマ募金へのご協力をお願いします。

地域テーマ募金は寄付をされる方が募金の使い道を選ぶことができる「使途選択募金」です。募金の使途や千代田地域学校支援連絡協議会(事業実施は本地小学校)の活動内容、活動目的をご確認いただき、ご賛同、ご協力くださいますようお願いいたします。

千代田地域学校支援連絡協議会

活動内容：本地小学校「夢を育むふるさと学習」

本地小学校では、地域文化の継承活動として「本地子ども花笠踊り」に取り組まれています。これは「本地の大切な宝を受け継ごう！」を合言葉に、花笠踊りの歴史を学んだり、実際に踊ったりするふるさと学習を行うものです。

また、地域貢献として、夏祭りや運動会等で「ソーラン」を発表し、地域へ元気と活気を届ける活動も行われています。

この活動に赤い羽根共同募金の支援をお願いいたします。

使 途：花傘踊り用草履、ソーラン法被、ソーラン鉢巻、花傘踊り楽譜

募金目標額：21万5千円(事業費総額43万円)

募金期間：令和2年1月1日～3月31日まで

募金方法：指定振込用紙による振込(用紙は本地小学校、社協各支所にあります)



赤い羽根共同募金を地域のために活用しませんか

～赤い羽根共同募金地域助成のご案内～

申請期間 令和2年2月1日～令和2年2月29日必着

助成期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

助成限度額 30万円(助成率は概ね総活動費の3/4以内)

皆様のご協力により集まった赤い羽根共同募金をお互いさまの地域づくりのために活用してくださる団体を募集します。

助成の対象

地域や町域を対象に行う文化継承やボランティア活動、イベント、行事などの様々な活動を通じて、**だれもが自分らしく安心して暮らせるように、地域の中にある課題の解決を目指す活動や地域づくりを目指す団体に助成をさせていただきます。**

過去の助成では、住民の集いへの参加者を増やして住民のつながりを再構築する活動や、子どもの登下校マップを作成して地域内の住民宅と企業へ配布し、地域全体で見守りを行う活動などがあります。

「どのような活動が助成の対象になるかわからない」という場合、ぜひ社会福祉協議会までご相談ください。

赤い羽根共同募金とは…

赤い羽根共同募金は、昭和22年に「国民助け合い運動」の名称で開始されました。

当時は戦後間もない混乱の時期であり、住まいを焼かれたり、親を亡くした孤児達の支援、民間の社会福祉施設の建物の増改築など、生活に困っている人達の支援に活用されました。

その後、社会情勢が変化していく中で社会のニーズも変化し、赤い羽根共同募金のあり方も大きく変わってきました。現在では、「地域福祉の推進」と「寄付文化の発展」という2つの目的と「じぶんの町を良くするしくみ」というキャッチフレーズで、困っている人を直接支援するだけでなく、地域福祉活動を支援しています。「じぶんの町を良くするしくみ」とは、自分達の町で募金を募り、自分達の町をより良くするために使うという赤い羽根共同募金の仕組みを表しています。



▲昭和22年ポスター



▲現在のポスター

ペットと一緒に暮らせなくなったとき

ケアマネは見た!

(現場からのレポート Vol.27)

前々回に、このコーナーで「介護もできる愛猫ゴンちゃん」を紹介しました。今回はペットを飼われている高齢者が自宅での生活やペットのお世話が難しくなったときに、家族同様のペットをどのようにするかを考えてみましょう。

事例：独り暮らしのAさん

Aさん(80代女性)は、愛犬「コロちゃん」と暮らしています。8年前にAさんの夫が亡くなり、日々、寂しさを感じていたとき、知人から子犬のコロちゃんを貰いました。Aさんはコロちゃんと散歩をすることで、近所の方々との関係性を続けることができていました。

しかし、Aさんは2年前から足痛のため、散歩に行く回数も減り、散歩に出ても成長したコロちゃんに引っ張られたり、リードが足に絡まり転びそうになることもあるようです。

Aさんには町外に住む娘さんがおられますが、仕事もあるため年に数回しか帰省できない状況で、支援を受けることはできません。

Aさんは、「これからもずっと家で、コロちゃんと一緒に暮らしたい」と望まれています。

現在は、Aさんが望む生活、自立支援に向けて、ヘルパーに買い物や掃除、入浴の見守りなどのサービスを利用して在宅生活を送られています。しかし、歩くことや食事の準備、掃除など身の回りのことも難しくなっている状況で、Aさんが一人暮らしをいつまで続けられるのかケアマネジャーも心配しています。

Aさんは、「もし私が入院したら、コロちゃんをみてくれる人がいない」「コロちゃんを一人にはさせられないから施設には入らない」とよく話されます。

大切なのは万が一に備えておくことではないでしょうか。入院や施設に入所してからでは間に合いません。お世話ができなくなることを想定して、隣近所の方でお世話をしてくれる人を決めてお願いしておく。頼める人がいない場合は、ペットホテルの活用を検討する。どこにあるのか、費用はどのくらいかかるのかを調べておくことも必要です。今後、お世話ができないとなると、動物愛護団体に相談をして、ペットの里親を探しておくことも重要です。

Aさんにとって、コロちゃんは癒しや生きる原動力であり、家族同様の存在です。

そんな大切な存在だからこそ、一緒に暮らせなくなったときのことを事前に考え、決めておいてはいかがでしょうか。

レクリエーション 用具貸出事業

脳トレに最適!! 『ジャンボ麻雀』

雪や寒さで外出が億劫になるこの時期に、室内で楽しみ、脳トレもできる麻雀はいかがですか？

『ジャンボ麻雀』は、通常の麻雀牌より1.4倍のサイズの麻雀牌のセットです。

サイズが大きいので、ハッキリと牌が見えやすく遊ぶときに目が疲れにくい、持ちやすいという利点があります。

<麻雀の効果>

- ①頭を使うこと、指先を使うことで脳のトレーニング
- ②卓を囲む人と会話がうまれる是非、地域の集いや行事にご活用ください。



北広島町社協では、レクリエーションを通じて住民同士の交流が深まり、広く住民に活用され、年齢や世代、体力に関係なく、誰もが楽しめる(誰もが主役になれる)場を提案することを目的にレクリエーション用具の貸出を行っています。

—「赤い羽根共同募金」活用しています—

利用料無料(社協会員)

※社協会員とは、毎年7月にご案内している社協会費500円を納めて頂いている方です。年度途中でも会費を納めて頂くと会員になることができます

<問い合わせ 地域福祉係>

教室から地域へ広がるボッチャの輪!!

ボッチャをやるう!知るう!楽しむう!

～ボッチャ教室(あい・あいスポーツ参加の日)～

6月から開催したボッチャ教室は、12月6日の豊平ふれあい健康館の開催をもって、今年度全6回が終了しました。延べ115人の参加があり大変盛況でした。

最後の教室では、「地域でもボッチャを出来るようになりたい」、「審判や試合進行の流れを体験させてほしい」という希望があり、試合の進行、審判を教室参加者が行い、学ぶ時間を多くとりました。

「教室が終わって残念だけど、今度は地域でやっていこうと思う」「これで最後だと思うと悲しい。来年も続けてほしい」という声もありました。

全6回の教室には、いろいろな地域の方が参加され、出会いがたくさんありました。

教室をきっかけに、地域の行事やサロンなどで、地域のみなさんにもボッチャの楽しさが伝わっていくことでしょう。そして、北広島町でボッチャの輪を広げていきましょう。

ボッチャの道具は、貸し出しを行っていますので、ご活用ください。





社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返礼、見舞返礼等あたたかいご寄付を頂きました。

この浄財は社会福祉事業資金として活用させていただきます。

ありがとうございます。

自 令和元年十月
至 令和元年十二月 (敬称略)

芸北地区

【香典返礼として】

- ◇十月 荒神 檜谷キヨ子 亡夫 秋人
- 小原 藤堂 敏文 亡母 春江
- 中祖 吉見 逸郎 亡父 昭宏
- 才乙 木本 安江 亡夫 庚次郎
- ◇十一月 広島市 沖田 晴友
- 土橋 亡母 ヨシ子
- 広島市 出上 茂夫
- 西八幡原 亡母 嘉津枝
- 細見 河野 角夫 亡妻 ケイ子
- 東八幡原 後藤 光枝 亡夫 幡雄
- 小原 西田 博稔 亡妻 イマヨ
- ◇十二月 岩手県 友田 龍興
- 高野 亡父 俊彦

【見舞返礼として】

- 奥中原 安本 静子 亡子 勝司
- ◇十月 中祖 栃数 幸一
- ◇十二月 荻屋形 酒井 忠典
- 【篤志寄付として】
- ◇十二月 安芸太田町 山県加計ライオンズクラブ

大朝地区

【香典返礼として】

- ◇十月 安芸郡 多田 昌弘
- 宮ノ庄 亡母 ナミ子
- 追坂 佐古キヨミ 亡夫 政行
- 枝ノ宮 沖田 勝俊 亡母 キミヨ
- ◇十一月 足谷 岩本 光敏 亡母 敏子
- 朝枝 藤田 覚治 亡母 茂子
- 岩戸 森脇 一行 亡妻 美代子
- 宮迫 山縣 幸雄 亡母 ハツミ
- 別所 沖野 卓郎 亡母 君代
- 【篤志寄付として】
- ◇十二月 超専寺門信徒中

千代田地区

【香典返礼として】

- ◇十月 川井 宮本智須子 亡夫 敏明
- 壬生 津村 清志 亡父 照男
- 今田 時平 静枝 亡父 義信
- 南方 勇知 正治 亡母 アサコ
- 川戸 友廣 慎治 亡母 喜美子
- 有田 花田 桂子 亡父 中野辰三
- 有田 吉水 則恭 亡義父 齋藤輝夫
- 川戸 前長 正樹 亡父 齋藤輝夫
- 後有田 亡母 益田文字
- ◇十一月 有間 平 信行 亡母 貞子

豊平地区

【香典返礼として】

- ◇十月 阿坂 大野 一昌 亡母 一枝
- 琴庄 龜田 マサコ 亡息子 照幸
- 都志見 山尾 春美 亡夫 幹吾
- 阿坂 寺田 正典 亡母 キ又工
- 吉木 森島 常人 亡母 哲子
- 今吉田 吉田 信義 亡母 アキミ
- 志路原 梅田 信司 亡母 トモ工
- ◇十二月 広島市 末田 永次 亡母 フユ子
- 志路原 北川 敏明 亡母 ユキヨ
- 阿坂 平田 保夫 亡妻 繁子
- 志路原 沖田 千恵 亡子 信廣時子
- 長笹 竹岡 義信 亡母 竹岡ミズエ
- 戸谷 藤井 高子 亡夫 瑞穂
- 戸谷 平田 和子 亡夫 瑞穂

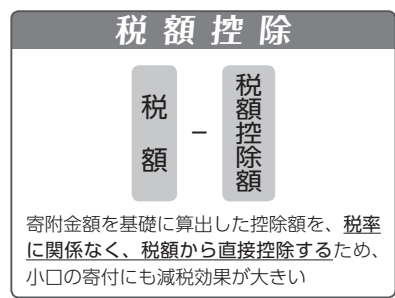
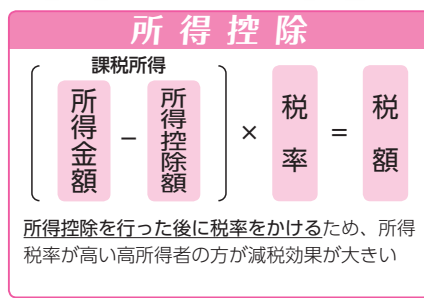
【篤志寄付として】

- ◇十月 阿坂 松本 文江
- ◇十二月 匿名

北広島町社会福祉協議会への寄附の税制優遇について

北広島町社会福祉協議会は、北広島町から「税額控除対象法人」として証明を受けています。これにより本会への寄附者は、税法上の優遇措置において「所得控除」と「税額控除に係る証明書の写し」のいずれか有利な方を選択していただけます。

※控除を受けるには寄附申し込み時の「受領書」及び「税額控除に係る証明書の写し」を保管の上、確定申告を行ってください。
※個人の所得金額や寄附額によって控除額は変わります。確定申告時にご確認ください。



譲ります・譲ってください コーナー

譲ります

No.638・643
ポータブル
トイレ



譲ってください

No.598・600・608・615・668
電動カート
他4名が
希望されて
います



譲ってください

No.606・626・
641・644・
671
車いす
他4名が
希望されて
います



譲ってください

No.652 電動ベッド



イメージ

譲ってください

No.654
歩行器



イメージ

【対象物品】 電動ベッド・電動
カート・シルバーカー・車いす・
歩行器・移動用リフト・ポータ
ブルトイレ・シャワーいす・浴
槽用簡易手すり・ベビーカー・
チャイルドシート・ベビーベッ
ド etc.

このコーナーでは、社協会員を対象に使わなくなった福祉用具等の橋渡しを行っています。掲載物品への申込・掲載希望等ありましたら、まずはお電話にてご連絡ください。

※社協が物品をお預かりすることはできません。譲渡決定まで保管ください。

※社協会員とは、毎年7月ご案内している社協会費500円を納めていただいている方です。年度途中でも会費を納めていただくことで会員になることができます。

※譲ります(初)に限り発行月の末日を締切とし、応募多数の場合は抽選、その他は受付順となります。

2月の行事予定

行事名	日	時間	会場	備考
健康太極拳教室	第1、3火曜日	13:30～15:00	大朝福祉センター	全身運動と長深呼吸で心身を整えます！ 月謝2,000円
囲碁の集い	毎週土曜日	10:00～17:00		頭の体操に始めてみませんか！
川柳の会	3日(月)	13:30～		今回のお題は「おまけ」「そろそろ」
おしゃれな 小物づくり教室	3月までお休みします			
はれやかサロン (男の料理教室)	13日(木)	10:00～14:00		参加費:600円 内容:カラオケと体操をしましょう 初心者大歓迎！参加をお待ちします。

パートタイム 職員 募集

職種 事務補助

勤務地 社協 芸北支所(北広島町川小田10075番地5)

勤務日 月曜日～金曜日まで(祝日除く)

勤務時間 8時30分～17時15分

賃金 時給890円(通勤手当有、年休有)

社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

□本所 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝 2513-1

大朝福祉センター内
電話 (0826) 82-2680 FAX (0826) 82-2778
IP電話 050-5812-2680

E-mail soumuka@kitahirosima.jp

ホームページ URL <http://www.kitahirosima.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/kitahirosima/>

□芸北支所 〒731-2322 広島県山県郡北広島町川小田10075-5
障害者支援センターさあくる内
電話(0826)35-0144 FAX(0826)35-1616
IP 050-5812-2144

□千代田支所 〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田 5 0 4
電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071
IP 050-5812-4670

□豊平支所 〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷1088-1
電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005
IP 050-5812-4050

～「まごころ通信」は、音声による広報としてカセットテープやCDに録音して貸出しています～

この広報誌は、みなさまからの会費や共同募金の配分金により作られています。